

2023年1月23日

静岡県下田市と、 SDGs とカーボンニュートラルを先導する 「持続可能なまちづくり連携協定」を締結

下田ガス株式会社は、下田市、静岡ガス株式会社と『SDGs とカーボンニュートラルを先導し持続可能なまちづくりの推進に関する連携協定』（以下、本協定）」を締結しました。3者は今回の協定を締結することで、電力供給契約に付帯する事項として、以下4項目について連携して取り組んでいきます。

①PPA（電力購入契約）^{*1}モデルによる、市有施設への太陽光発電設備の設置

学校の体育館屋根などが候補。静岡ガスグループが太陽光発電設備の初期設置費用・メンテナンス費用を負担し、太陽光発電の発電電力のうち、市有施設の自家消費分について電力販売を行う。電力を再生可能エネルギー由来にすることで、カーボンニュートラル化への貢献と施設の災害対応の強化を実現する。

②下田市公用車の電動化

下田市新庁舎へのEV充電設備の設置、公用車のEVやPHV化についてサポートを行う。

③市有施設の省エネ診断を実施

静岡ガスグループの有資格者が市有施設の省エネ診断を実施。LED化など、効率的なエネルギー利用策を提案することで、施設のエネルギーコスト削減を後押しする。

④市有施設における最適な省エネ・再エネ設備を提案

市有施設の新設や設備更新の際、地域のカーボンニュートラル化や災害時でも継続利用ができる仕組みを兼ね備えた、最適な省エネ・再エネ設備の導入を提案する。

静岡ガスグループは今後も地域社会の課題を解決することで、持続可能なくらしやすい地域の実現を目指してまいります。

- ※1 発電事業者が、電力需要家の敷地や屋根などを借り受けて太陽光発電設備を設置。長期契約を締結し、発電した電力を需要家に販売するビジネスモデル。電力需要家は、設備設置費用やメンテナンス費用の負担無く、太陽光発電設備を導入できる。



【協定式の様子 1月23日 下田市役所2階中会議室】